

学校法人 滋慶学園 福岡キャリアナリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月9日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	4	<p>福岡キャリアナリー製菓調理専門学校は、滋慶学園グループの学校としてミッションである「職業人教育を通じて社会に貢献する。」を目的として教育活動を行う。</p> <p>「建学の理念」として ① 実学教育 ② 人間教育 ③ 国際教育を掲げ それを実践するため独自の産学連携教育システムを構築していく。</p> <p>それらの活動を通し「4つの信頼」 ① 学生・保護者からの信頼 ② 高等学校からの信頼 ③ 業界からの信頼 ④ 地域の信頼 を得ることを方針として学校運営を行う。</p> <p>建学の理念に基づき、福岡キャリアナリー製菓調理専門学校は、食の世界で即戦力として活躍するために必要な技術・クリエイティブ・コーディネート・ビジネス・ホスピタリティーの5つの要素を身につけさせる独自の5つ星教育プログラムを駆使し人づくりを行う。</p> <p>産学連携教育を通し、業界が求める技術だけでなく「商品づくり」と「お店づくり」そしてお客様に喜んでもらえる「おもてなし」までを身につけた人材育成を目指す。 就職するだけでなく、開業までも視野に入れた生涯サポートを構築し食分野の人材育成を通して社会に貢献する。</p>	<p>「学校法人滋慶学園グループ」 昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育を目指す。目指せる職種は500以上、北海道から福岡まで81校を有する。</p> <p>「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された『滋慶学園グループ独自の教育システム』。</p> <p>「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え、心構え・気構えを養成する。</p> <p>「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。</p>	4	
	1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	<p>運営 方針は、明確な目標を定めた事業計画書(項目は右記特記事項参照)の中で定められており、1年間の行動指針となっている。 またこの指針に沿って各部署(広報・教育・就職・総務経理)の方針も確定される事になっており教職員への周知もできている。</p> <p>事業計画は中長期的な計画から、単年の計画まで、明確に定められており、中長期の目標にむけて、単年度見直ししながら、執行体制や業務分担を明確に定め学校の運営は行われており、問題なしと思われる。</p> <p>理事会をはじめ、学内における委員会など、学校運営に必要な組織は、すべて適切に設置されており、規則・規制の整備ならびに、運営上大切な職員の育成においても、研修を中心に行なわれている。</p> <p>職員の意欲や業務改善の為に研修や給与の規定についても、明確に決められており、今後は、職員の意欲の向上の為に、この給与等の規定などの開示にも更に積極的に取り組んでいく事も必要かと思われる。</p> <p>意思決定に関しても、事業計画書の中で、決定案件に応じた数多くの決定方法を整備しており、すべて円滑に運用されている。</p> <p>情報データはグループ内のサポート企業により、システムの開発から運営管理まで行っており、情報データに関しては一元化で効率化を図られると共に、姉妹校との共有化も可能となっている。</p>	<p>■事業計画書の内容は以下の通り I. 組織の目的 II. 組織の運営 (1) 計画体系 1. 運営方針 2. 目標(定量的目標、定性的目標) 3. 実行方針 4. 実行計画 ① 組織図 ② 職務分掌 ③ 人事採用計画 ④ 広報計画 ⑤ 広報年間計画 ⑥ 学科・専攻のイノベーション ⑦ 新規事業 ⑧ 年間スケジュール (2) 仕組みとルール 1. インセンティブシステム 2. 業績評価システム 3. 意志決定システム III. 5年後の将来 IV. 自己点検・自己評価 更に単年から5年後の収支予算書を持って事業計画書としている。</p> <p>本校における事業計画は、広報・教務・就職など、学校における全ての部署について立案され、コンセンサスを取る為、全ての部署が同じ方針・同じ考え方をもち、全スタッフ協力の下、目標達成に向けて学校運営がなされる。</p> <p>学校全体の運営あるいは各部署の運営が正しく行われる為に、様々な研修や会議が設けられ、この研修・会議を通して各個人の目標設定や業務への落とし込みを行い、また、方向性や位置づけ等を常に確認できるシステムを構築している。</p>	4	
	3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか					
	4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	6-1 意思決定システムを整備しているか					
	7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか					

学校法人 滋慶学園 福岡キャリアリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月9日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
3 教育活動	8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	<p>教育活動は、滋慶学園グループの理念、「実学教育」「人間教育」「国際教育」をもとに、構築されている。</p> <p>本校は教育システムとして、独自の「産学連携教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界で即戦力となりうる人材を育成、輩出できている。</p> <p>教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで、体系的に編成されている。カリキュラムは学科に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。</p> <p>授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、授業評価を実施しているが、これを通して講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断ができる要因となっている。GPA評価も取り入れている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、柔軟な対応ができる余地を残すことで、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っている。</p> <p>資格取得については、国家資格である「調理師免許取得」、厚生労働省の決められたカリキュラム、施設が整っている。</p>	<p>実学教育・人間教育・国際教育を基に、「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」に努め学校運営を行っている。滋慶学園グループでは、全職員の目標として</p> <p>1. 専門就職率 100% (就職者/専門分野就職者) 2. 退学率 0% (入学者は全員卒業してもらう)</p> <p>を掲げ、その達成のために構築した2つの重要なシステムを構築している。</p> <p>第1のシステムは入学前の自己発見→自己変革→自己確立という、自己3段階教育と、動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。</p> <p>第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識、ビジネスマインド等を身につけるための教育システム「産学連携システム」である。</p> <p>①企業プロジェクト ②ダブルメジャー・カリキュラム ③業界研修 ④海外実学研修 ⑤特別ゼミ ⑥特別講義</p> <p>教職員の授業改善におけるFD研修をグループ全体で取り入れ、教員の専門性を向上させる努力をしている。 成績評価・単位基準に関しても年度ごとに見直しをしながらよりの確な評価が出来るようにしております。</p>	4	
	8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか					
	9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	9-3 キャリア教育を実施しているか					
	9-4 授業評価を実施しているか					
	10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか					
	10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか					
	11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					
12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか						
12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか						
12-3 教員の組織体制を整備しているか						
4 教育成果	13-1 就職率の向上が図られているか	3	<p>就職希望者全員の第一専門職への就職を目標とする。その為に、キャリアセンタースタッフが学生の就職活動状況を詳細に把握し、それをもとにひとり一人に対応した就職支援を行うと共に、就職セミナーなどの支援イベントを実施している。また、開校以来、キャリアセンターで全ての情報を管理している。</p> <p>資格取得者数は、毎年事業計画内で設定している。 (調理師科の学生調理師免許取得100%を目指す) 特別講義やセミナーの学習支援も計画的に行っている。</p> <p>「ひとり一人を大切に」をスローガンとし、担任制度のもと、ひとり一人をサポート行っております。</p>	<p>本校では第一専門就職率100%を達成するため、キャリアセンターを中心に、就職情報の管理等のシステムを構築している。 また就職支援のためサクセスナビシステムで姉妹校との情報共有や合同企業説明会などでグループ力を活かしたサポートを行っている。 単独企業説明会面接会で学内選考できる機会の誘致を強化させている。</p> <p>【退学率低減への取り組み】 2020年度進級生DO数は、製菓・製パン科2/49(4.1%)調理師科0/24(0%)カフェ総合科1/19(5.2%) 合計3/95(3.2%)のDO率であり、目標0%を達成することができませんでした。DOの内訳は、精神的問題が1名進路変更が1名、転校失敗が1名です。コロナの影響もありオンライン授業が始まったため人間関係での長欠者が減りました。 精神的な問題での不登校や目的意識を失う学生が相変わらず多いので早めにSSCに繋ぎサポートをしています。</p>	4	<p>・オンライン授業の有効性が確認できた。今後の導入の仕方により授業の進め方も変わるかもしれないという可能性がある。</p> <p>・悩んでいる学生に対して早めに面談を行ってほしい。なぜ自分自身はその道に進もうと思ったことを聞き出し、本来の夢や目的を再確認させたり、製造販売実習などを通してやりがいを感じてもらおう。</p>
	14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか					
	15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか					

学校法人 滋慶学園 福岡キャリアナリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月9日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	<p>【就職等進路】 専門分野での就職を第一に考え、就職の専門部署であるキャリアセンターを設け、専門スタッフが個別指導から就職イベント開催まであらゆる就職支援を行っている。また、インターネットによる求人アクセスや情報のメール送信、就職指導ノートの作成まで、情報、ノウハウ体制の確立を行っている。</p> <p>【学生相談】 学生の相談については、基本的には担任が行うが、担任にも相談できないと考える悩みはJTSC(滋慶トータルサポートセンター)という部署を設け、その解決にあたっている。留学生に対しては、担当を設け、在籍管理や生活指導を行っている。</p> <p>【経済支援】 学生支援機構の奨学金のほか、学園グループ独自の奨学金として、「滋慶奨学金」を用意している。また「学費サポートプランのご案内」の冊子を作成すると共に、分納や延納などすべての経済的支援ができるように努めると同時にデータの管理もコンピュータ管理できている。</p> <p>【健康管理】 毎年実施している健康診断の他に、健康面をサポートする目的で学校グループで慶生会クリニックという歯科、内科の2診療科目のクリニックを運営している。</p> <p>【課外活動】 福岡の姉妹校合同でクラブ活動に取り組んでおり、予算管理から引率や大会への参加や年間の成績管理などクラブ活動担当者により行われている。</p> <p>【生活環境支援】 グループ企業のジケイスペース㈱により、専用寮を運営・管理しており、学生指導をはじめ、利用状況や充足数などの情報も明確になっている。</p> <p>【保護者との連携】 保護者から大切なお子様を預かって育てているということ忘れず意識し、保護者への連絡と連携が重要である。本校では、4つの信頼というコンセプトを掲げているが、「学生・保護者の信頼」として、保護者の信頼を得ることもその1つであり、そのためには適切な連携をとることが重要である。</p> <p>【卒業生・社会人】 学校の評価は、卒業生が業界で活躍することに直結するため、まずは卒業生の卒業後動向をしっかりと管理できる体制が必要である。そのための同窓会組織を作り、年に一回同窓会総会を実施して情報収集や卒業生間の交流を図っている。2020年度に関しては、コロナの問題で開催を断念せざるを得ない状況であった。</p>	<p>【就職等進路】 企業を校内へ招聘する「合同企業説明会」「単独企業説明会」や等の就職イベントを開催。また、業界研修指導まで、学生の為のあらゆる支援として、キャリアセンターが独自の活動を行っている。</p> <p>【学生相談】 平成24年度から滋慶学園福岡8校で統一で運営し、滋慶トータルサポートセンター福岡として運営を行っている。ここは専用の場所を学校とは別の場所に設け、相談しやすい環境を整えている。また自習スペースもここに設けて、学校に来れないような学生が、ここで学習することが出来る環境を整えている。また法にのっとり、必要であれば合理的配慮も行っている。</p> <p>【経済支援】 日本学生支援機構の奨学金紹介のみならず、高等教育の修学支援制度、学園としての滋慶奨学金を用意している。また、災害支援策もっており、熊本震災の被災者に関しては学費減免措置を実施。</p> <p>【健康管理】 慶生会クリニックは、学生であれば診療料は、学生の健康管理費から負担されるため、何度でも安心して受診することができる。</p> <p>【課外活動】 姉妹校連携クラブ活動だけでなく、学生発案による同好会も発足しており、活発に活動している同好会も多くある。</p> <p>【生活環境支援】 学生及び保護者から費用が高額であるとの意見が多く、全室埋まらない寮がある。設備やサポート等、費用以上の価値をもっと伝えていく事が重要である。</p> <p>【保護者との連携】 担任は日頃から学生だけではなく、保護者とも連絡をとるように心がけています。また、保護者会、三者面談等も実施し、常に保護者と適切な連携をとることを重要と考えている。今後は入学前からの連携も必要と考える。このようなことが、退学率の低減に結びついていると考えている。</p> <p>【卒業生・社会人】 就職後の状況確認を行い、奨学金返還のサポートや再就職のサポートを実施している。また、全国の求人姉妹校と連携していますので、広い視野での転職サポートも可能です。</p>	4	<p>・心療系の相談をもっと受けさせてもいいと思います。日本はまだ少ないし、学生も我慢する傾向が見られます。</p> <p>・生活環境に関して定期的にカウンセリングを実施したらよいと思います。</p> <p>・卒業生のサポート、カウンセリングの実施を重視してほしいです。</p> <p>・しっかりと学生管理がされているようで安心しました。生徒一人ひとりを大切に思っていることが伝わりました。</p>
	17-1 退学率の低減が図られているか					
	18-1 学生相談に関する体制を整備しているか					
	18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか					
	19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか					
	19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	20-1 保護者との連携体制を構築しているか					
	21-1 卒業生への支援体制を整備しているか					
21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	<p>【施設・設備等】 施設、設備は、業界の実情に合わせたものと、最新の機材を取り入れて、授業使用において学生に十分に用意されており、不足があれば毎年の設備計画の中で充足が計られている。また、設備点検や補修なども、サポート企業と密接に提携した上で、毎年必要に応じた整備がなされており、そのための予算の確保も長期的な計画をたてて問題なく運営されている。</p> <p>【学外学習、インターンシップ等】 学外実習、インターンシップ、海外研修は十分な体制をひいており、また学生への案内も周知徹底し、研修後の教育効果の確認も出来ている。</p> <p>【防災・安全管理】 常に、災害が起こりうる事を想定して、起きた場合の対策として、訓練の実施とスタッフの体制をいっている。災害訓練だけでなく、心肺蘇生等の訓練も毎年行っている。また事故が起きた場合の保険等の処置もできている。</p>	<p>【施設・設備等】 学園グループの関連企業のジケイスペース㈱は、学校施設の種類・衛生・点検・補修・改修を担う企業であり、予算を含めて単年から中・長期的な観点で学校のサポートを行っている。また同じ㈱ジケイスペースはPC環境メンテナンスにおいて常に学校と共に整備を行っており、学生の学習環境を支えている。</p> <p>【学外学習、インターンシップ等】 インターンシップは単なる学習効果だけではなく、社会人としての意識の向上につながっており、また学生本人が自身のスキルをプレゼンテーションする場となっている。また協力企業においても人材確保の機会として協力をいただけており、毎年インターンシップから多くの内定が生まれている。</p> <p>また、海外実学研修は、スイス提携校、フランス、イタリア協力企業のもとに国際教育の一環として毎年実施している。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>【防災・安全管理】 防災訓練は学内で行うだけでなく、福岡市と連携し近隣のコンベンションセンターでの実施や、関係機関からの特別講習も行い、行動のみならず、心構えの面でも多くの対策を実施している。</p>	4	<p>・機材設備は整っていますが、小物類の数が少ない場合があります。</p> <p>・防災に関しては今後もっと意識を持たせてほしいです。</p>
	23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか					
	24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか					
	24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					

学校法人 滋慶学園 福岡キャリナリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月9日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生 の 募 集 と 受 け 入 れ	25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4	<p>【学生募集活動】 ガイダンスやWebを柱とした資料請求者獲得、DM等配布資料、オープンキャンパス、入学相談まで、コンプライアンスに配慮した適切かつ効果的な活動を実施。広報活動を、将来の職業に向けての自己発見期間と位置づけ、対象者、保護者、高校から賛同を得る。可能な限り多くの方に将来の職業発見、職業意識を持っていただくためにも、様々な機会や高校訪問の機会を用意している。また、教育成果としての就職実績が明確となる資料を用意して配布・説明を行っている。</p> <p>【入学選考】 高校の学力や技能審査だけではなく、目的意識を重視した面接と作文による可否の判定を行なうことで、入学前の能力ではなく、将来の職業に向けて意欲ある学生を求める内容となっている。本人の志向や資質を計りながら、入学後の授業編成にも、活かされているものとなっている。</p> <p>【学納金】 業界が求める即戦力を育成するための授業運営・学校経営に向け、最適な金額設定ではあるが、近年学費を理由とした、入学断念の傾向が見られるが修学支援制度も整備され、各種教育ローンや奨学金を柱に様々な学費サポートプランを用意し、入学から卒業までの学費面を支える準備ができています。</p>	<p>【学生募集活動】 ・学校認知強化 ・Web・ガイダンスからの資料請求者獲得 ・進路決定の早期化に対応すべく高校2年生以下へアプローチ ・校内、会場ガイダンス等、志望者との直接的な接触を重点に、そこからイベント参加者を獲得 ・高等学校からの信頼獲得(高校先生説明会、高校&部活動支援等)</p> <p>【入学選考】 ・進路選択早期化に応じ、本人の意欲を重視するAO入学を実施 ・出願者本来の目的意識を引き出すための面接を実施 ・遠方からの出願者に向け、各地方選考会を開催 ・障害者差別解消法の実践の一つとして、入学予定者の合理的配慮の対応を滋慶学園本部組織の滋慶トータルサポートセンターと連携して実施している。</p> <p>【学納金】 ・募集要項に卒業までに必要な学納金をすべて明示 ・学費サポートプランのツールを用意 ・学費ファイナンシャルプランナーを配置し、個々の状況に応じた対応 ・修学支援制度を積極的に告知し使用している。</p>	4	<p>・2年生の学生に将来のことを考える意識が少ないように感じる。授業内で社会人としての考えや行動のことを教えていく必要がある。</p> <p>・入学・卒業だけでなくその先もしっかり考えて頂いて体制に信頼を憶えました。学費は高額ではありますが、それだけの価値はあると確信できました。</p> <p>・学生に伝え続けるということが続ければ、きっと伝わり、次の学生にまた新たに伝えていくと思えました。</p> <p>・先生同士が仲が良かったり、学生との距離感など楽しい雰囲気伝われば集客につながるのではないのでしょうか。</p>
	25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか					
	26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか					
	26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
	27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか					
	27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか					
8 財 務	28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	<p>【財務基盤】 財務は学校運営を行う上で重要な要素の一つである。特に予算(収支計画)は学校運営に必要不可欠なものであって、いかに予算が正確でかつ実現可能なものであるかが重要である。これについては、毎年事業計画書を作成し、5ヶ年の収支予算を立てている。その中で入学者数、在校生数、退学者等を勘案して学費明細を作成し、収入予算の推移を把握しており、その中で入学者の減少があっても健全な学校運営ができるように安定した財務基盤が築けている。</p> <p>【予算・収支計画】 予算の編成は、中・長期収入に応じたバランスで編成しており、整合性が図られている。また執行においても、執行の規定を設け、適正な執行がなされており、予算項目ごとに予算が決められ、その項目予算が超過できない仕組みになっており、適切なチェック体制も整っている。</p> <p>【監査】 会計監査についてであるが、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えられる。監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。</p> <p>【財務情報の公開】 財務情報公開については、平成17年からの私立学校法の改正に基づき整備され、学校法人の財務情報公開を規定し、マニュアルに即した形で行っている。また認定を受けた職業実践専門課程の財務情報公開も適切に行っている。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能にするために以下のような取り組みを行っている。</p> <p>①単年度の予算を綿密に作成している。 予算は、事業計画の時点で、各部署ごとの予算から、予算項目別に細かく分類し、執行に関しても全て事前に、事務局長承認と常務理事承認が必要で、金額によっては、本部承認を得る流れとなっている。また消化金額は毎月の学内チェックと、サポート企業による3ヶ月ごとの修正と評価を受ける。</p> <p>②中長期(5ヶ年)での予算計画も組まれており、特に設備造作における改装や改築などの大掛かりな支出が想定されるものは長期で計画を行っている。</p> <p>また、私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。</p> <p>「財務情報の公開」については、規程と「情報公開マニュアル」に則して、情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。</p>	4	<p>・備品(中期的消耗品)に関しての予算を拡充してほしい。分野によっては年々のトレンドに対応してほしい。</p>
	28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか					
	29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか					
	31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか					

学校法人 滋慶学園 福岡キャリナリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月9日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
9 法令等の遵守	32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	<p>法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営(学科運営)が適切かどうかは次の各調査等においてチェックできるようにしており、評価結果、教育情報の情報公開を行っている。</p> <p>①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基礎調査 ④専修学校各種学校調査 ⑤学校施設認定規則に基づく報告等 である。</p> <p>また、組織体制強化やシステム構築のために以下のようなシステムならびに組織体制の運営がなされている。</p> <p>■組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) ■管理システム ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④機材購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピューター管理システム(滋慶学園グループ)</p> <p>滋慶学園というグループカ、スケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムを構築、稼働させることで、各学校が健全に運営できるようにしている。法令や設置基準の遵守に対する方針は明確化されており、体制作りについては完全に整備されている。</p>	<p>法令や専修学校設置基準の遵守に対する方針は、文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りを整備している。</p> <p>教職員へは、法令や設置基準の遵守に関する教育または研修を実施し、周知徹底を図っており、今後も継続して行う。</p> <p>本校は、一般社団法人 日本プライバシー認証機構「TRUST-e」の国際規定の認証を受けている。また、職業実践専門課程の規定ならびに滋慶学園の情報公開規定に則り、公開していき、情報公開の方法は、ホームページへの掲載を通じて広く社会に公開できている。保護の観点から個人情報保護委員会を設置し、対策をとっている。教職員には教育と研修を通じて周知徹底できている。学内のネットワークに関しては、情報の漏洩が生じないよう、アクセス権の設定やグループ内サポート企業のみでの使用措置をとっている。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。さらに、学校評価に関しては、「職業実践専門課程」の認定に際し、学校関係者評価委員会の設置がなされており、適切に評価を受け、また適切に情報公開もなされている。</p>	4	<p>どの企業においてもコンプライアンスは大切だと思いますが、これほどしっかりと行われている事には感心致しました。</p>
	33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか					
	34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか					
	34-2 自己評価結果を公表しているか					
	34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
	34-4 学校関係者評価結果を公表しているか					
35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか						
10 社会貢献	36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	<p>滋慶学園グループの『職業人教育を通して社会に貢献する』というミッションのもと、本校が行うあらゆる活動は常に社会に貢献することを念頭に置く。</p> <p>グループでは真の役割を果たすために、『4つの信頼』…①学生・保護者からの信頼、②高等学校からの信頼、③業界からの信頼、④地域からの信頼 を掲げるが、まさにここに挙がる各方面からの信頼を得ることが、社会貢献に直結すると考えており、運営に当たっている。</p> <p>学校の教育資源や施設から創造されるもので社会貢献を行っており、企業に対する貢献から、地域のプロジェクトを毎年行っている。</p> <p>ここで掲げる「社会」とは、グローバルな視点で捉える広義なものから、地域に密着したローカルなものまで、ありとあらゆるコミュニティを意味し、そこに広く貢献していくことが必要であると考えており、今後は「学生のボランティア活動」を「人間教育」の一環としてさらに拡充させていきたいと考える。</p>	<p>産学連携教育の一環で取り組む「企業プロジェクト」は毎年、企業からの制作依頼で取り組んでおり、一つの社会貢献・地域貢献となっている。</p> <p>2020年度実績 福岡市ケーキョップ「ルセットマリナ」スイーツ商品開発 小倉井筒屋50周年イベント飾りパン製作デモンストレーション 宮崎県新富町「黄金千貫」を使用したスイーツ開発</p>	4	<p>・社会貢献は親としてもとても心配するところです。しっかりとサポートして頂ける体制に期待致します。</p> <p>・次年度から農業に関するコースが始まるということですが、農業は夏は暑く、冬は寒く、そして不安定な仕事です。私たちは食材があるから調理できるということを忘れずに、いつも農家の方々のおかげで仕事や勉強が出来ているということを学生のうちから伝えてほしいです。</p>
	36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか					